

# 福岡県米麦大豆生産改善速報 第2号

令和2年7月20日  
福岡県  
福岡県米麦品質改善協会

## 普通期水稻の生育概況と対策

### 1. 気象経過 [太宰府アメダス]

	6月19日～7月14日 (26日間)				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本年	24.3	28.7	21.1	86	754
前年差(比)	+0.1	-0.3	+0.2	82	357
平年差(比)	-0.3	-0.1	-0.4	94	208

注) 平年は、1981～2010年の太宰府アメダスの平均値。

### 2. 農林業総合試験場における生育概況

6月19日～7月14日の平均気温は平年並みで、日照時間は6%少なく、降水量は108%多かった。6月10日植「夢つくし」では、6月の気温が高く、日照時間も多かったため、草丈および茎数は平年並で、主稈葉数は0.8葉少なかった。6月19日移植は、7月以降の低温、日照不足のため草丈が高く、茎数が少なくなり、「元気つくし」では、草丈は平年より14～15%長く、茎数は、平年より10～12%少なく、主稈葉数は0.6～0.9葉少なかった。「ヒノヒカリ」では、草丈は9～11%長く、茎数は平年より15～22%少なく、主稈葉数は0.6～0.7葉少なかった。「実りつくし」では、前5年と比べ、草丈は13%長く、茎数は9%少なく、主稈葉数は0.6葉少なかった。

### 3. 当面の対策

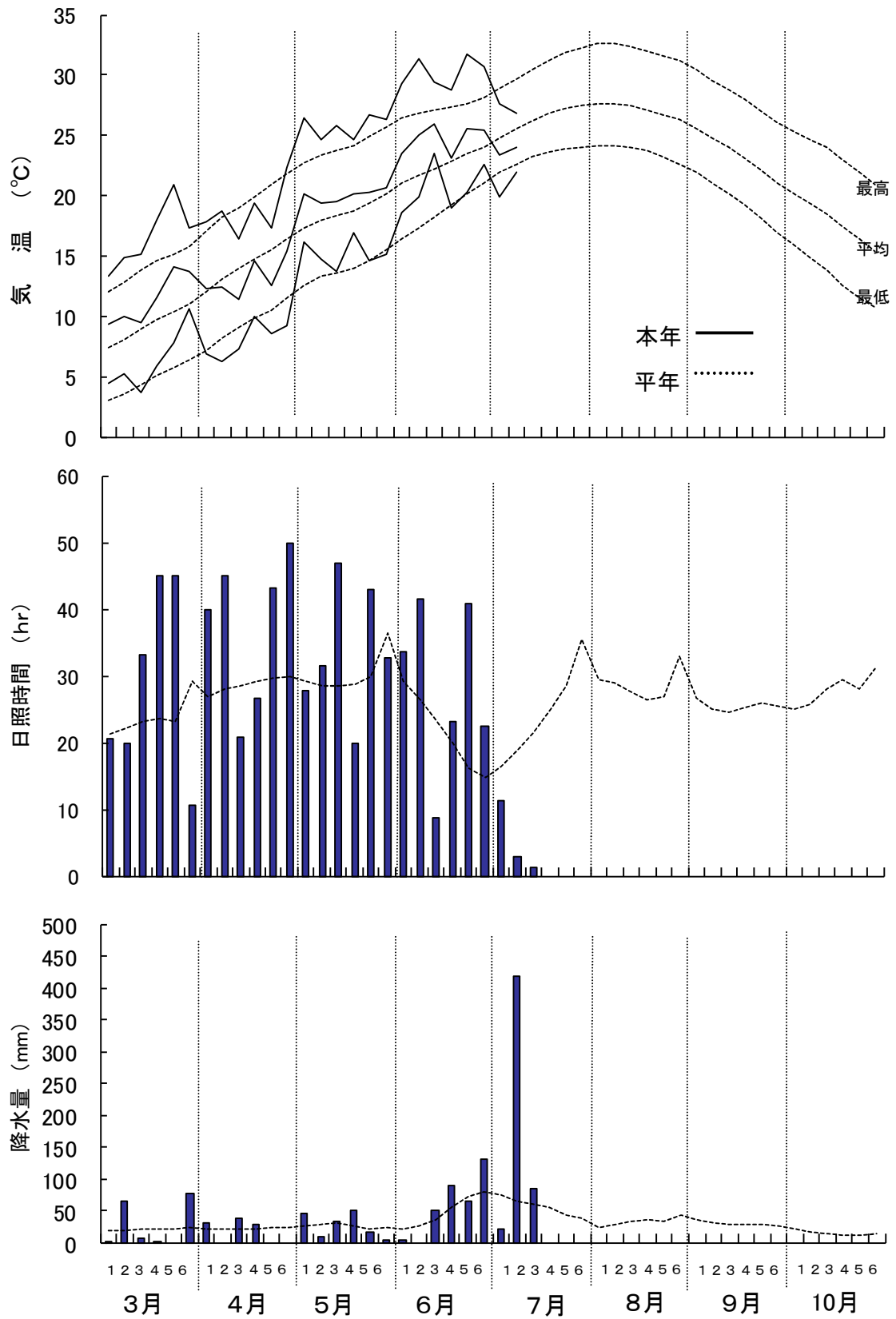
- 1) 水 管 理 6月10日植「夢つくし」の出穂期は8月11日頃と予想されるため、中干しを終了し、幼穂形成期以降は水を切らないよう十分にかん水する。  
6月中下旬植の早生～中晩生品種は、間断かん水を実施し、有効茎が確保され次第、中干しを開始する。本年は軟弱徒長の生育で、稈が伸びると倒伏が懸念されるため、中干しを徹底する。
- 2) 施 肥 6月10日植「夢つくし」の穂肥施用時期は7月23日頃で、穂肥は生育診断に基づいて施用する。
- 3) 病虫害防除 いもち病やウンカ類、コブノメイガの発生に注意する。特に、ウンカ類やコブノメイガの発生が多いため、ほ場での発生状況を早急に確認し、適期防除に努める。また、いもち病の常発地では、必ず初発時に防除を行う。葉いもちが多発した場合は、穂肥の施用量を減量する。
- 4) 雑草防除 雑草の発生が多いほ場では、中後期処理除草剤を処理する。  
除草剤は「普通作雑草防除の手引き」を参照し、最新の登録情報を確認して使用する。

4. 農林業総合試験場における調査成績

調査場所	移植期	品種	年次	移植期			7月15日		
				苗長 (cm)	苗齢 (L)	乾物重 (mg/本)	草丈 (cm)	m <sup>2</sup> 当たり 茎数 (本)	主稈 葉数 (L)
農産部	6/10	夢つくし	本年	10.7	2.7	15.5	61	436	9.3
			前年比(差)	96	+0.1	87	121	110	-0.2
			平年比(差)	94	+0.1	93	97	98	-0.8
	6/19	元気つくし	本年	13.3	2.5	16.4	52	279	7.4
			前年比(差)	113	+0.4	109	129	89	-0.9
			平年比(差)	98	+0.2	109	114	90	-0.9
6/19	ヒノヒカリ	本年	11.8	2.8	12.6	42	253	7.6	
		前年比(差)	117	+0.3	69	118	79	-0.7	
		平年比(差)	102	+0.1	88	109	78	-0.7	
筑後分場	6/19	元気つくし	本年	12.4	2.5	15.6	52	348	7.7
			前年比(差)	114	+0.2	100	137	112	±0
			平年比(差)	96	±0	103	115	88	-0.6
	6/19	ヒノヒカリ	本年	12.4	2.7	15.9	43	362	7.8
			前年比(差)	141	+0.2	91	122	88	-0.2
			平年比(差)	110	-0.1	108	111	85	-0.6
6/19	実りつくし	本年	13.0	2.4	16.0	51	343	7.6	
		前年比(差)	122	+0.2	102	129	106	±0	
		前5年比(差)	103	+0.2	102	113	91	-0.6	

注 1) 平年値は過去10か年の平均値。

2) この値は暫定値で、今後変更することがある。



2020年（令和2年）夏作期間の気象（太宰府アメダス）